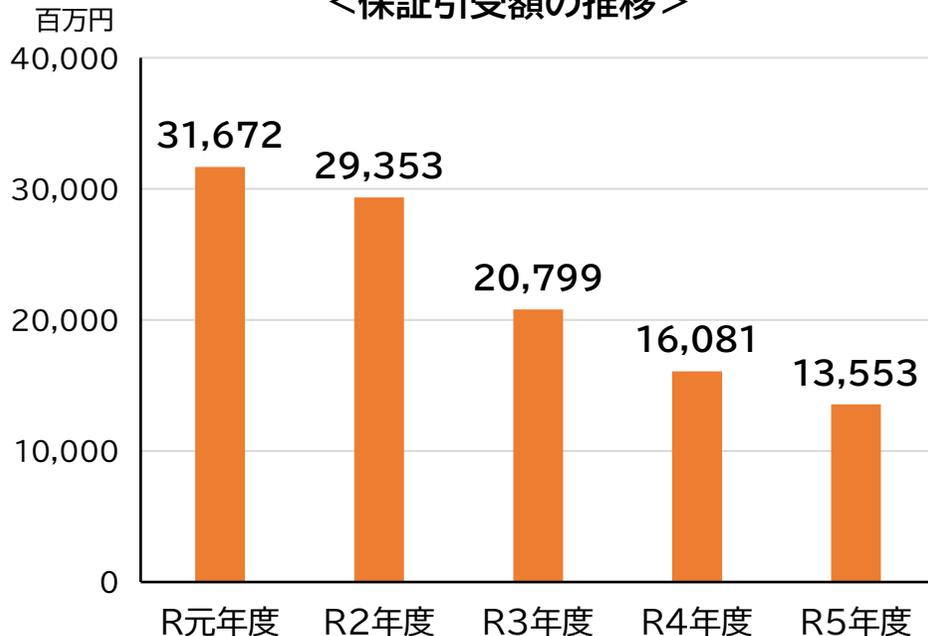


# 令和5年度の林業信用保証実績の概況について

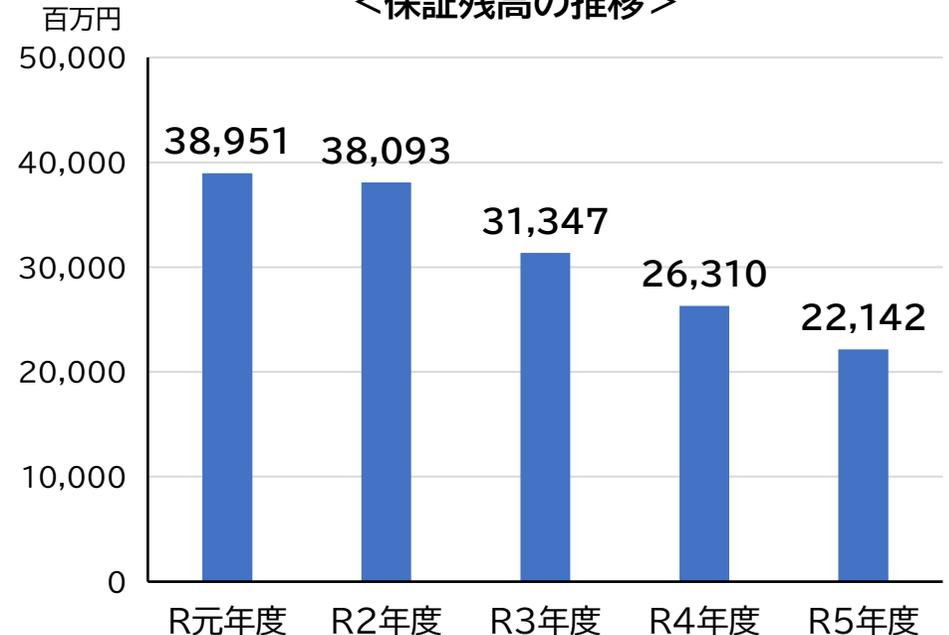
# 1 保証引受

- 令和5年度の保証引受は、136億円(前年度比84.3%)であり、この5年間を見ると、令和元年度以降、減少傾向が続いている。
- 保証引受額が前年度と比較して減少したのは、木材価格がウッドショックの反動により下落傾向にはあるものの依然として高い水準で推移している中、被保証者の資金繰りが改善し完済に至ったもの(23億円)や、経営悪化により保証更新できず期日延長したもの(2億円)などが主要因と考えられる。また、保証引受額の推移に合わせて保証残高も減少傾向にある。
- 今後も、資金を必要とする林業者等に、適切に信用保証サービスが提供できるよう、勉強会の実施による融資機関との連携強化等の積極的な制度普及に部門一体となって取り組む。

<保証引受額の推移>



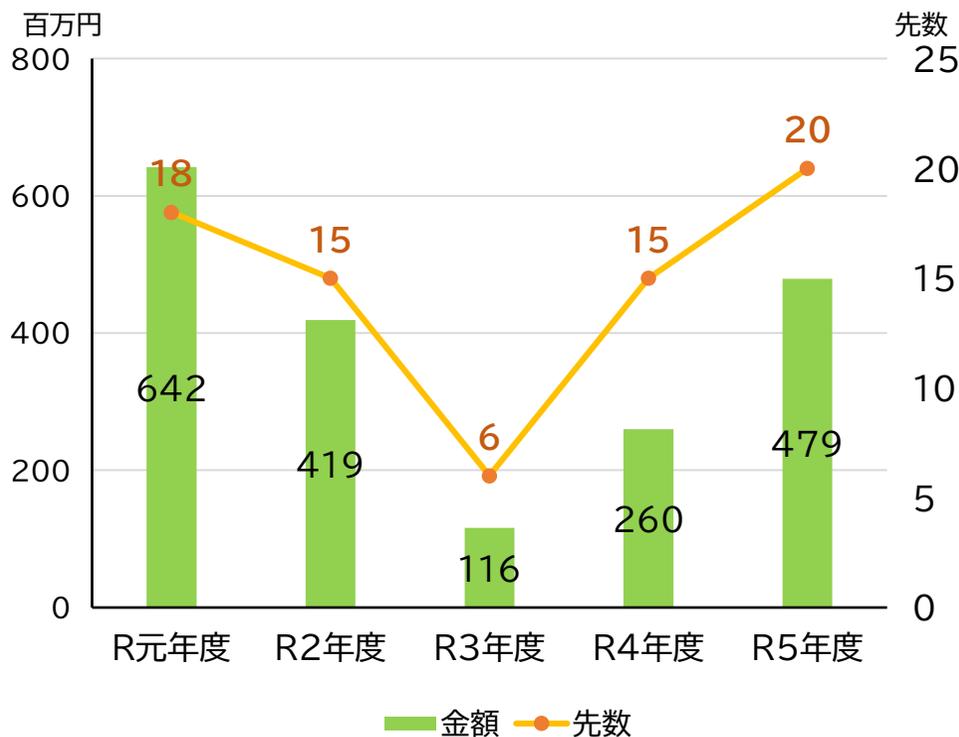
<保証残高の推移>



## 2 代位弁済

- 令和5年度の代位弁済は、479百万円(前年度比184.3%)、先数は20先(前年度比133.3%)となった。
- 代位弁済が増加したのは、日銀短観の業況判断(木材・木製品の中小企業DI)でマイナスが続いている状況(R5年12月期▲9%ポイント→R6年3月期▲20%ポイント)の下で、燃料費高騰、価格転嫁が進まないなどの理由により、経営不振となって資金繰りが悪化する事業者が依然として見られることが主要因と考えられる。
- ゼロゼロ融資返済の本格化の影響等に伴う倒産件数が増加傾向にあること等から、今後の動向を注視するとともに、期中管理等を適切に行い、林業者等が事業継続できるよう、融資機関と連携し、条件変更等に柔軟に対応していく。

<代位弁済(金額・先数)の推移>



<代位弁済事由の内訳>

(単位:先)

	経営不振	うち		人手不足	経営者の死亡等	偶発的要因	その他	合計
		コロナ要因						
R4年度	8	3	2	4	1	0	15	
R5年度	12	7	1	2	3	2	20	

<中小企業の業況判断指数(DI)の推移>

	2023年			2024年
	6月	9月	12月	3月
全産業	5	5	9	7
木材・木製品	▲24	▲14	▲9	▲20

注:1 日銀短観(日本銀行の全国企業短期経済観測調査)より作成  
2 DIとは、「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものである。

<倒産の状況>

(単位:件)

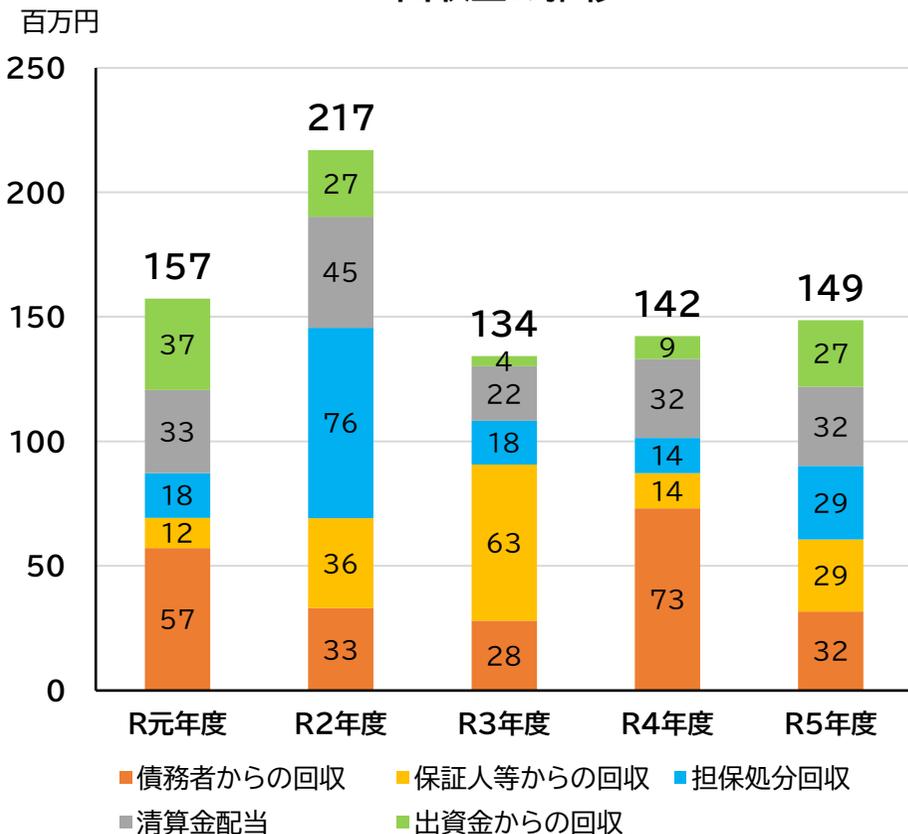
	2023年			2024年
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
全企業	2,086	2,238	2,410	2,319
木材・木製品	8	5	6	4

注:株式会社東京商工リサーチ「倒産月報」より作成

# 3 回収金

- 令和5年度の回収金は、149百万円(前年度比104.5%)となった。ここ数年は、代位弁済額が低位で、求償権残高・先数も減少傾向が続いて回収金も減少傾向であったが、令和5年度は代位弁済及び求償権残高・先数が増加に転じたことに伴い、回収金も増加となった。
- 近年の回収金の内訳は、年度によって回収元に大きなばらつきが見られる。

<回収金の推移>



<求償権残高・先数の推移>

